山崎高校　図書館だより

2026年11月号



「秋深き　隣は何を　する人ぞ」

松尾芭蕉が晩年に詠んだ句です。秋が深まりゆく中、病床に臥し句会を欠席した芭蕉が、微かに聞こえる隣家の物音から、隣人の生活や句会での様子などに思いを馳せた句だそうです。実りの秋から寒い冬へ季節が移りゆく中で、孤独感や虚無感、人懐かしさが表現されています。

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
開館時間　08：40～16：50						1
2	3	4	5	6	7	8
☺		☺	☺	☺		
	文化の日	生徒総会		学校説明会		
9	10	11	12	13	14	15
☺	☺	☺	☺	☺		
		図書委員会		まちやま祭(1・2年)		
16	17	18	19	20	21	22
☺	☺	☺	☺	☺		
	図書委員(整備)			振替休業日(1・2年)		
23	24	25	26	27	28	29
	☺	☺	☺	☺		
勤労感謝の日						
30	今年度の本のリクエスト受付は11月末までです！お早めにどうぞ♫ 12月以降の受付は来年度の注文になります。					
☺						
リクエスト終						

11月3日　文化の日
「自由と平和を愛し、文化をすすめる日」

この日は明治天皇の誕生日であり、日本国憲法が公布された日です。
祝日としての歴史は、1873(明治6)年に***「天長節」***とされ、1927(昭和2)年からは***「明治節」***とされました。戦後1946(昭和21)年のこの日に日本国憲法が公布され、平和と文化を重視した内容であることなどから***「文化の日」***とされました。※5月3日の憲法記念日は憲法が施行された日です。

文化勲章の授与や文化功労者顕彰では、科学・芸術・文学・音楽・建築などの様々な分野で顕著な功績を残した人物が表彰されます。
また国立のほか各地の博物館や美術館が入館無料(常設展のみ)になったり、各地域や自治体で発表会や展示会、学校では文化祭などが開催されます。

伝統的な文化や現代的な新しい文化、国民が広く文化に親しみ、暮らしの中にある文化をみつめなおすための祝日です。
生活に潤いを与え、美しいものを美しいと感じられる、文化的で平和な暮らしを守っていけたらいいですね。

11月23日　勤労感謝の日
「勤労をたつとび、生産を祝い、国民がたがいに感謝しあう」

日本では古来より今も、天皇が新穀などの収穫物を神々に供えて感謝し、自らも食する祭祀***「新嘗祭」***(にいなめさい)が行われています。

旧暦では「11月２回目の卯の日」でしたが、1873(明治6)年に太陽暦の導入により11月23日に固定され、祭祀と同名の「五穀の収穫に感謝し豊穣を祈るための祝日」となりました。アメリカやカナダなどでは、収穫と犠牲に感謝する「感謝祭(Thanksgiving Day)」が類似した祭事です。
戦後、日本国憲法が制定される時に祝祭日も見直され***「勤労感謝の日」***となりました。

「勤労」は憲法で定められた国民三大義務の一つです。***「働くこと」***に***「働いている人」***に***「生産や収穫(実り)」***に感謝し、その気持ちを改めて伝えましょう。
家族や先生方・仲間たち・バイト先の同僚や上司など、日々を共に過ごす身近な方たちとともに、毎日頑張っている自分も！しっかり褒めてあげましょうね。

追悼
村上 龍さん

最後の家族　村上 龍
幻冬舎　913.6　ム

息子の引きこもりを機に家族4人が
それぞれに人生の岐路を経て、
各々自立していく物語。
どんでん返しや劇的な伏線回収など
派手な技法は一切なし。
ただ淡々と心にしみていくお話。

「教育の崩壊」という嘘
村上 龍　　日本放送出版協会
３７０　ム

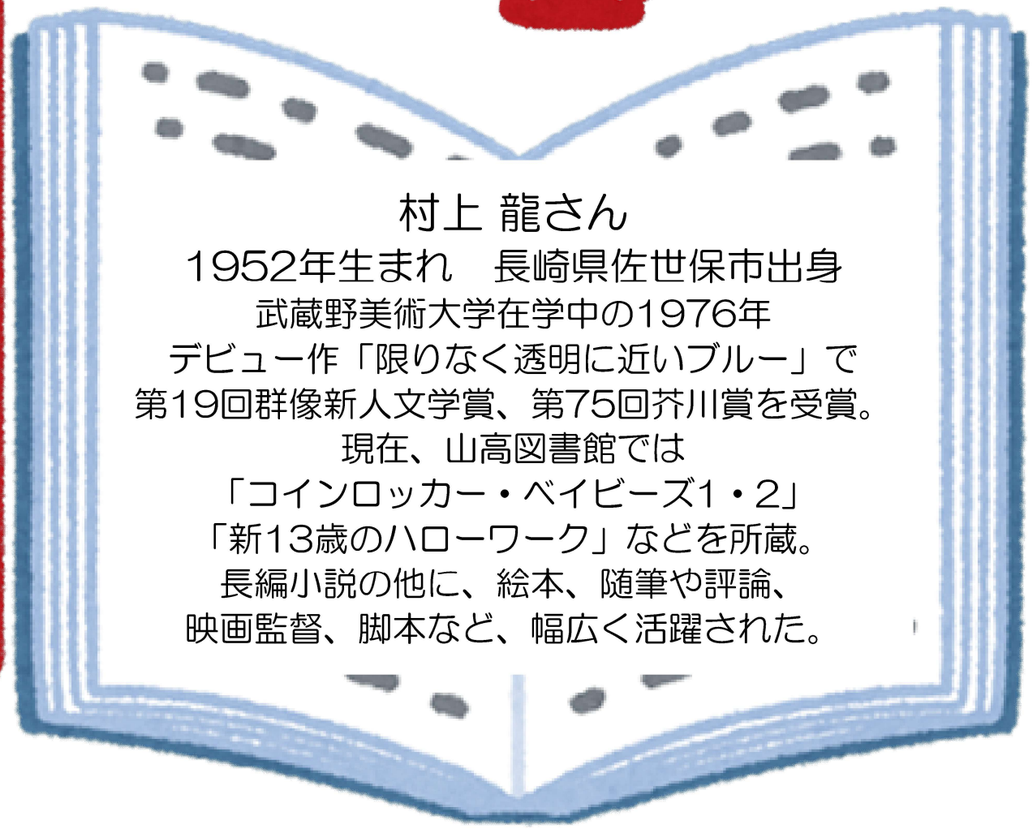
2001年発行。当時の学校教育が抱える
問題を正確に描写している。
中学生のアンケートや、教育現場に立つ人との
討論を通して筆者なりの教育への希望を語る。
20年以上たった今、
教育の在り方は変わったのだろうか。

共生虫　村上 龍
講談社　913.6　ム

第36回谷崎潤一郎賞受賞作品。
幼少期に、死んだ祖父の鼻から出てきた
細長い虫に寄生された引きこもりの男。
ネットの掲示板から「共生虫」と知り、
「選ばれし者のみが共生虫を飼っており、
殺人、殺戮と自殺の権利が神から与えられ
ている」という主張の組織に傾倒し、
殺人を計画するが・・・

半島を出よ　上・下　村上 龍
幻冬舎　B913.6 ム - 1・2

2005年の作品。当時から見た近未来の2011年、
経済は崩壊し、世界から孤立状態になっている日本が舞台。
北朝鮮「反乱軍」武装コマンドが来襲し福岡市中心部を制圧。
日本政府は福岡を封鎖、九州は反乱軍の占領下となった。
逮捕・拷問・粛清・裏切り・白昼の銃撃戦・苦悩・危険な恋。
絶望と希望が交錯する中、若者たちの決死の抵抗が始まる。
空気読み・責任逃れ・指示待ちで決断の遅い日本政府。
戦う敵兵もまた人間、帰還を前提としない彼らの「覚悟」とは。
政治小説で戦争小説で経済小説で青春小説で群像劇で…
大きく広がる村上龍の世界にどっぷりはまれる長編小説。
文庫下巻の巻末14ページに及ぶ参考文献・WEBの量に震えろ。



村上 龍さん
1952年生まれ　長崎県佐世保市出身
武蔵野美術大学在学中の1976年
デビュー作「限りなく透明に近いブルー」で
第19回群像新人文学賞、第75回芥川賞を受賞。
現在、山高図書館では
「コインロッカー・ベイビーズ1・2」
「新13歳のハローワーク」などを所蔵。
長編小説の他に、絵本、随筆や評論、
映画監督、脚本など、幅広く活躍された。